

政治にうんざりしてる場合じゃないわたしたち ～日本と韓国の選挙から考える～

わたしたちが政治に関わる方法は、選挙だけではありません。とはいえ、やっぱり意思表示ができる選挙は重要。とくに今年7月に予定されている参議院選挙は、改憲にかかわる動きも見据えると、非常に大きな意味をもっています。それなのに野党は明確な対抗軸がうちだせず、希望がもてない、選挙なんかうんざり、という気持ちの人も多いかもしれません。

しかし選挙結果は、選挙権のないひとたちも含め、わたしたちの生に直接影響してきます。あきらめている場合ではありません。だとしたら、どのように選挙に向き合い、関わっていけばいいのでしょうか。

日本で25年も選挙を闘い国会で活躍してこられた辻元清美さん、ジェンダー視点から政治を研究しておられる申キヨンさんをおむかえして、女性の視点から見た日韓政治の課題、政治をよりよく変えるためにできること、女性の選挙への関わり方などを考えたいと思います。



3月12日 (土)
10:00～12:00



辻元清美さん

元衆議院議員・立憲民主党
参議院比例第20総支部長



申キヨンさん

政治学者・お茶の水女子大学
教授

◆開催方法：

ZOOMによるオンライン開催
申し込まれた方は期限内に後日配信あり

◆参加費：500円

◆参加申込：

下記リンクまたはQRコードから、
お申込み・ご購入ください。

<https://ajwrc.stores.jp/items/62186ee2113ce008caab8b09>



※主催者以外の録音録画はお断りします。
※進行を妨害する行為や差別発言などは固くお断りします。